

令和5年5月1日発行



明智地域自治区運営協議会だより

令和5年度第3回明智地域自治区運営協議会が3月24日（金）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員22名中14名、オブザーバー2名 傍聴者：2名）

1. あいさつ

【杉山会長】

今年度最後の運営協議会であり有意義な会議にしたい。各委員については2年若しくは、1年の任期についてありがとうございました。本日は明智町のスポーツ優秀選手の表彰があるためお願いしたい。

2. セレモニー

- ・明智町スポーツ優秀選手表彰を体育振興会により実施。

3. 協議事項

(1) 令和4年度まちづくり活動補助金事業の実績と令和5年度まちづくり活動補助金事業の内示について

【事務局】

- ・資料に基づき、令和4年度のまちづくり活動補助金及び交付金に係る現時点での実績を報告。
- ・資料に基づき、令和5年度のまちづくり活動補助金に係る単独事業分5事業、連携事業分2事業、自治区への交付金について、補助金内示額を説明。恵那市全体枠の補助金の中で、申請額が補助金額を上回ったため、按分調整を行い内示額となった。

【意見等】

- ・特になし

(2) 地域自治区会長及び運営協議会委員・部会委員の改選状況について

【事務局】

- ・資料に基づき、改選状況を説明。
- ・2月21日に委員選考委員会を開催した。本日はその結果を報告する。次期地域自治区会長は杉山淳氏が継続。運営協議会委員は現行団体を基本とし、あけちみらい会議を加える。部会委員についても現行団体を基本とするが、会議を運営していく中で部会長の判断により追加が可能のため、柔軟な対応をしていきたい。

【意見等】

- ・特になし

(3) 令和5年度まちづくり懇談会の開催について

【事務局】

- ・資料に基づき、令和5年度まちづくり懇談会開催の概要を説明。令和4年度と同様の形を取り、6月から7月上旬までに開催予定。開催時期が早い理由は、懇談会時の要望については、年度内対応できるものは、出来る限り対応していきたいというためである。新年度に入ったら、視察場所や懇談内容等を調整していくためよろしくお願ひしたい。

【杉山会長】

- ・本来であればコロナも終息し、以前のように明智文化センターで地域住民に参加をいただいた上での開催を望んでいたが、今年度同様に地域代表者出席による開催となったため、本意ではないがご了承願ひたい。

【意見等】

- ・特になし

4. 報告・共有事項

(1) 部会開催状況について

【郷土部会副部長 成瀬あい】

・部長に代わり報告する。2/24に部会を開催した。正面に飾ってある山本芳翠の紙芝居が完成した。読み聞かせの会の方たちに小学校等で活用していただきたい。また、梅村吾三氏を講師として、あけちの宝物の勉強会を開催した。

(2) 山本芳翠マンガ本製作及び販売について

【事務局】

・山本芳翠マンガ製作活用検討委員会が主となり、B&G財団の補助金を活用しマンガ本の完成に至った。本協議会のオブザーバーである伊藤勝彦氏が監修を務め、漫画は恵那市出身である松原裕美氏が描いた。マンガ本は学校授業や図書館、コミセン等で広く活用していく。購入したい声が多くあったため、山本芳翠顕彰会、日本大正村、観光協会明智支部の協力により増刷した。4/10(月)より1冊500円で販売する。4/1号の広報えな同時配布にて、案内チラシを作成し全戸配布する。

(3) 令和5年度恵那市主要事業の概要について

【事務局】

・資料に基づき、明智町に関連する事業部分を抜粋し説明。

(4) 恵那南地区中学校再編に関する地域説明会資料提供について

【事務局】

・3月8日(水)19:00~明智文化センターにて開催した説明会時に配布された資料を共有する。このことについては、前回運営協議会にて、情報を共有してほしいという意見もあったため共有するものである。本日は時間の都合もあり内容を説明しないが、一度目を通していただきたい。

【委員】

・この運営協議会では統合に関して議論し、明智町としてはどういう方向で行くのか議論はしないのか。

【会長】

・市も3月議会の一般質問で方向性を答弁していた。この実情を冷静にとらえていくと、この場で我々が統合に関して議論することは混乱を招くこととなり良いことではない。前向きな考えで進めていきたい。

4. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

・WRCに約5億円の予算が計上されている。予算がどのように使われるのか詳細を今後伺ってみたい。学校統合についてはどのような選択をしても、メリットデメリットがあるので、地域の皆で協力してやっていけると良いと思う。

・賑わい部会です、WRCに関して去年は時間も無く思うように議論できなかった。来年度は、準備からしっかりやって地域に経済的な波及効果があるように、人を巻き込んで出来ると良いと思う。イベントだけやって終わりにするのではなく、地域の人と知恵を出しながら地域で経済が回っていく工夫を考え取り組んでいきたい。

・まいまいくらぶです。来年度は新しくイルミネーションイベントをやっていきたい。冬のイベントなので人が集まりにくいかもしれないが、子ども達が集える場所にしていきたいと思っているのでよろしく願いたい。中学校統合に関しては前向きに捉えている。明智だけでなく、外に出ていろんな子ども達と交流して欲しい。子ども達の為に予算を使って欲しいと思う。

・安心部会です。4月から新たなバスの運行が始まる。まだ知らない方もいると思うので、いろんな方に知っていただけるようお知らせして、町の繁栄につなげていけたらと思う。

・地域学校協働活動推進員について説明する。任期2年で、小学校と中学校の運営協議会、地域自治区運営協議会の3つの会議に出るのが主な役割だった。岐阜市の出身なので、色々な中学校の中身を知る事が出来て勉強になった。

- ・恵那南高校に吹奏楽部がある。中学生や小学生に興味をもってもらいたいと思い、声をかけたら、小学校6年生が聞いてみたいといわれたので、小学校へ演奏に行った。もっと多くの人に演奏を聞いてもらえるといいと思った。
- ・郷土部会、桔梗の会です。皆さんに配布したパンフレット、三河の隣国美濃国遠山莊明知城、両面ある。徳川家康側近 明知遠山利景について書いてあるため、ぜひ、読んでほしい。明知城を国の指定にする為に動いている事は嬉しく思う。
- ・消防団からです。消防団員が年々減少している。なかなか難しいと思うが、団員の確保をしていきたいので周りに誰かいたら連絡をほしい。小学校PTAからは、3/23日に卒業式が無事に行われた。今年は明智小学校創立150周年の記念学習発表会があったので、子ども達が明智の歴史を学んで発表する良い機会となった。これをきっかけに、住んでいる地域に愛着が湧き、引き継いでいってもらえるといいなと思った。
- ・自治連合会副会長として安心部会でデマンド交通について会議を重ねてきた。4月から動き出すため、よろしくお願ひしたい。
- ・商工会青年部です。2年間ありがとうございました。後任は30代前半の方に引き継いでもらう予定なのでよろしくお願ひしたい。
- ・大正村からです。5/3日にちょっとおんさいまつりと、光秀祭りを同時開催する。コロナ制限が緩和したので新たな取り組みを検討している。竹下景子村長も来村されるため皆様の参加をお願ひしたい。
- ・恵那市社会福祉協議会明智支部です。新年度からカフェの事業を再開する。コロナの状況を見ながらではあるが、皆が集える場所ができればと思っている。また、デマンド交通の説明を早男女会にて3回、振興事務所の方に来ていただき説明していただいた。新年度には、乗り方の教室も計画していきたい。まだまだ、スタートラインに立ったところなので、こういう所が使いづらい等の意見が出てくると思う。今後も皆さんと話をしながら改良していきたいと考えている。料金の割引が少し分かりにくいと感じている。皆様にもぜひ乗っていただき、いろんな意見をいただけるとありがたい。
- ・本日冒頭の表彰については、例年クロスカントリーにて表彰を行っていたが、コロナの関係でこの場にて表彰を行わせていただいた。今後も優秀選手のサポートをしていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。青少年育成町民会議の小集会活動の発表会があった。コロナ禍で子どもを集めて行う事は大変苦労されたとのことだった。子どもたちが団体行動を学ぶ良い機会なので、今後も進めていってもらいたい。自治連合会の自治会長会議も数回開催した。今年度、コロナの中でいろんなイベントがあったが、反対意見などなく行う事が出来たので、今後も協力していきたい。4年ぶりにクロスカントリーが開催され、1278名の応募があった。無事に開催できたと思うが、反省点などもあり、今後検討していきたい。
- ・緩和されたマスク着用については、大人が子どものマスクを外してあげなければ、子どもから自主的に外す事はできない。子どもが健全に心と体が発達するように、かたちを作ってあげたいと常に思っている。

5. その他

【事務局】

- ・令和3年度にこの組織の改変を行い、4つの部会を取り入れ協議の場を細分化した。この2年間、事務局のファシリテートがうまくいった部会ともう少し頑張らなければいけない部会があった。安心部会、郷土部会については、方向性が見えてうまくいったが、若者部会、賑わい部会はテーマが難しく、思うように進まなかった。というのも、部会に属しているそれぞれの団体が、すでに若者部会の機能、賑わい部会の機能を果たしているためである。そこをうまく引っ付けて相乗効果を出し、さらに良い方向へ持っていくというのが部会の役割だが、そこがうまくいかなかった。次年度は部会にこだわらず、例えば、賑わい部会と若者部会を同時開催し、将来のリニア開通を見越し、リニアの担当職員に来てもらい、将来リニアが通ると、このような効果があるよ、このような町を描いているよ、というのを勉強した上で、賑わい部会、若者部会がそれに向かって提案をしていくのも一つの方法である。また、今後WRCが3年間継続していく。単なるイベントで終わらせずに、

地域の振興に結び付けていきたい。明智町には、リヤドナナ、しらたか、ウトカ、コテージこもれび、さつき旅館などの宿泊施設がある。そこを満杯にするようにしていきたい。WRC の効果を期待して民泊や農泊を増やしていく努力も皆さんと考えていきたい。今年度で委員を離れる方も、この経験を活かして明智町の為に、引き続き力をかしていただくことを願います。

・昨日、市職員の内示があった。瀧瀬、梅村、安藤、平林、林は継続して明智振興事務所勤務となった。また、去年の7月から伊藤さんが週4日、会計年度任用職員として勤務しているが、次年度も継続のためお願いしたい。コミセンは塩田、伊藤が継続して勤務となった。事務職員として、新たに大泉の山本さんに週3日程度勤務してもらうためお願いしたい。

【オブザーバー伊藤市議より】

・終了予定時間が近いので簡潔にお話しする。山本芳翠のマンガ本は非常によくできている。市のホームページにも掲載されるとのことなのでよろしくお願ひしたい。マンガ本は学校等で活用をしていくが、これを契機に山本芳翠を全国にPRし、究極的には朝ドラで山本芳翠を取り上げてほしいというのが切なる願ひである。今年度、多くの方の協力を得て無事開催が出来たWRCについて、3月議会の一般質問で質問した。今後は何とかして経済効果に結び付けていきたい。WRCが恵那市や明智にとって良いものになるようにしていきたい。次年度も多くの方に負担をかけることになるが、ご理解とご協力をお願いする。

【オブザーバー平林市議より】

・新しい組織になり、2年参加してきて感じた事を述べさせていただく。先ほど、団体の報告はされたが、この自治区の代表の会議で明智町の「活気あふれる 笑顔あふれるまち」をどうやって作っていくかについて、いくつかの課題があるが、その事についての討議が十分に行われていないのではないかと感じる。市町村合併にはなってしまったが、明智町としての議論があり意思決定の場だと思う。今回の中学校統合問題については、明智の将来に関わる事なのに、この5～6年間、一度も論議されず報告もされず、検討委員会に明智の代表が出ていない中で決まっている。前回の地域自治区運営協議会で委員が、この場で話し合わなくていいんですか？と言われた。私は地域説明会に参加した。皆さんの意見を聞いた。町民の意見を聞いた。それぞれの皆さん、所属団体の意見を聞いてみえるのでしょうか。私は1校統合への心配、懸念がある。準備委員会でこれから論議しましょうという問題ではないと思う。これからこの町がどうなっていくのか、持続可能な町になっていくのか、どうなのかというとても大事な問題だと思う。異論を持ってみえる方もいると思う。教育委員会から様々な説明があったが、皆さんの懸念とか、疑問に答えるものではなかったと感じている。このまま進むべきではないと感じる。18年前の市町村合併の時、論議はしてきたが、賛成だった方も賛成を進めた方も今になって、あの時の統合は間違っていたという声が聞かれる。今後についての話を。市の公共施設等総合管理計画で、あけちかえでホールが令和7年、明智文化センター、ふれあい会館吉良見は令和6年を期限として残していくのか論議されていく。地域の未来に関わるとても大事な問題だと思う。この場は各団体の代表者が各団体の話をするだけでなく、この明智をどうするのかをいっぱい論議出来る場であって欲しい。明智町の意志をしっかりと表せる機関である事を願っている。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内） ☎0573-54-2111

まいまいあけち
maimai aketchi

